

## 取扱い上の注意

- 電池を長持ちさせるため、使用しない時はインプット・ジャックからプラグを抜いて下さい。
- 長期間使用しない時は、電池を抜きとって下さい。
- LEDが暗くなったり、点灯しない時は、電池の電圧低下を意味します。このような場合効果が弱くなったり、音が歪んだりしますので、早めに電池を交換して下さい。
- ACアダプターは必ずマクソンAC-109をお使い下さい。(指定外のものをご使用になるとトラブルの原因になります。)
- 操作上必要なもの以外の止めネジ類には、触れないで下さい。

## 主な規格

入力インピーダンス：500K $\Omega$   
 出力インピーダンス：10K $\Omega$ 以下  
 入力換算ノイズ：-100dBm (IHF-Aカーブ・入力ショート)  
 最大入力レベル：+10dBm  
 最大出力レベル：+5dBm  
 イコライザー周波数：100Hz, 200Hz, 400Hz, 800Hz, 1.6KHz, 3.2KHz  
 レベル可変範囲： $\pm 15$ dB  
 電源：電池S-006P(9V)-1本又はACアダプターAC109  
 寸法：124(D) $\times$ 74(W) $\times$ 53(H)  
 重量：580g(電池を含む)  
 オプション：AC-109 ¥1,500

※規格及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

# Maxon<sup>®</sup>

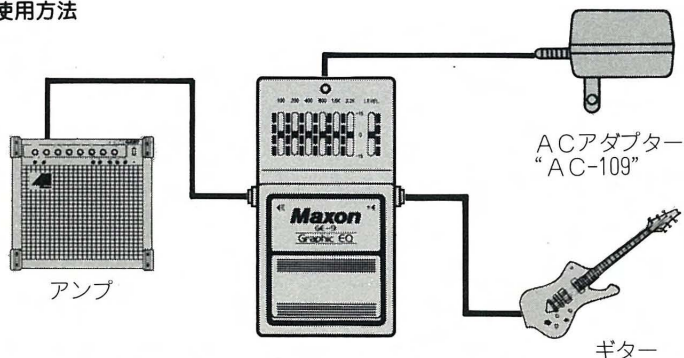
株式会社 日伸音波製作所

取扱説明書 1981年10月印刷 MI-GE1001, KU Printed in Japan

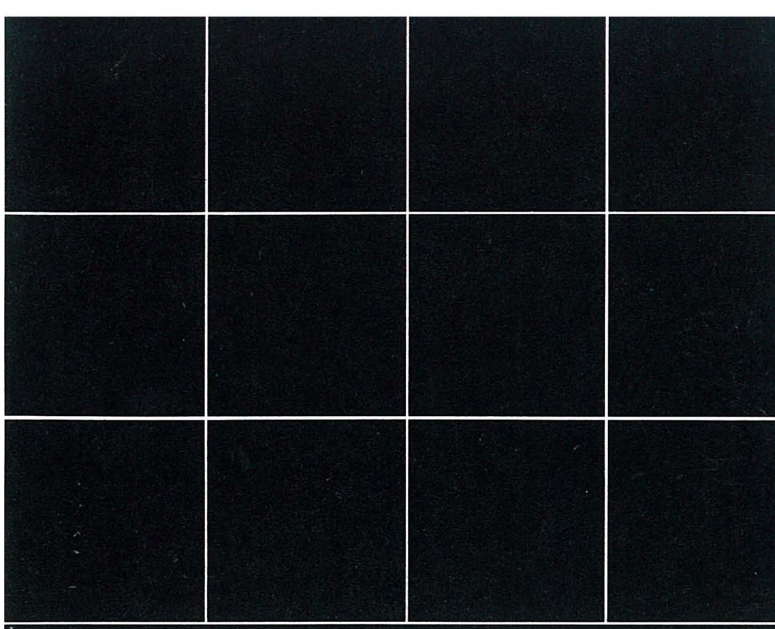
## 特長

- 6バンド・グラフィック・イコライザー+レベル・コントロール+フット・スイッチ、グラフィック・イコライザーの音造りに必要な要素を全て搭載しました。
- エフェクト/ノーマル切替スイッチには、新開発の大型“Q-1”FET電子スイッチを採用、クリック・ノイズをシャット・アウトしました。
- 電池の交換は画期的なワンタッチ式です。ドライバーやコイン等を使わずに簡単に交換が可能です。
- ノーマル/エフェクト&バッテリー・コンディションを兼ねたインジケータを装備、暗いステージでもミスセットの心配がありません。
- 長時間連続使用の場合は、オプションのACアダプターを接続できる、ACアダプター・ジャックが装備されています。
- コンパクト・サイズながらヘビー級のアエンダイキャスト・ケース、ゴムストッパーにより安定性は抜群です。

## 使用方法



- ①インプット・ジャックにギター等の楽器を接続します。(インプット・ジャックにプラグを差し込むと、自動的に電源が入ります。)
- ②アウトプット・ジャックにアンプを接続します。
- ③100Hz, 200Hz, 400Hz, 800Hz, 1.6KHz, 3.2KHzの各周波数素子は、音造りに合わせてセットします。上にスライドするとブースト(増幅)し、下にスライドするとカット(減衰)します。



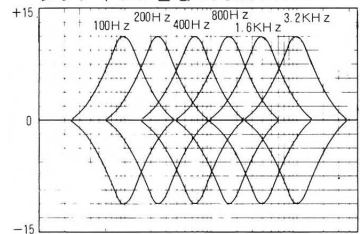
# Graphic EQ GE-9

マクソンは、新しい時代の要求と皆様のご意見を反映した製品を常にお届けできるように心掛けております。マクソンの魅力を十分に引き出すためにも、ご使用前にこの説明書をご一読ください。

## 取扱説明書 OWNER'S MANUAL

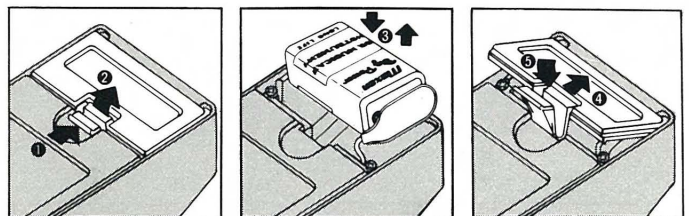
- ④レベル(レベル)：全帯域のレベルをコントロールします。上にスライドするとブースト(増幅)し、下にスライドするとカット(減衰)します。通常はノーマル音とエフェクト音がヒヤリング時に1:1になる様にセットします。また全帯域ブースターとしてディストーション・サウンドも得られます。
- ⑤エフェクト/ノーマルの切替は“Q-1”フット・スイッチの足踏操作によって行ないます。
- ⑥インジケータは、フット・スイッチでエフェクトにセットすると点灯します。(フット・スイッチを切替えた時、LEDが暗かったり、点灯しない時は電池が消耗していますので、新しい電池S-006P、またはアルカリ電池MN-1604と交換して下さい。)
- ⑦外部電源端子にはオプションの専用ACアダプター“AC-109”を接続して下さい。

グラフィックEQの周波数特性



## 電池の交換

- この製品はS-006Pタイプ(9V)の電池を1本使用しております。
- 電池の交換は以下の手順に従って行なって下さい。



1. バッテリー・カバーをOPEN方向に押し(①)、上に開き上げます(②)。
2. 電池を図③に従って入れ換えます。この時バッテリー・スナップと電池の接続が確実であること、電池の方向に注意して下さい。
3. バッテリー・カバーをケースの溝にはめ込み(④)、“カチッ”と音がするまで押し込んで下さい(⑤)。